

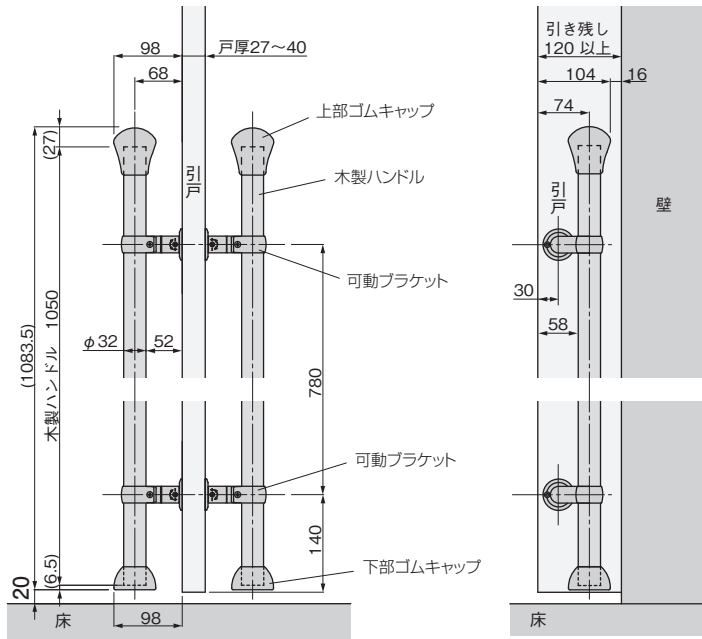
ドア錠  
1  
丁番  
2  
スライド  
丁番  
3  
開き戸  
金具  
4  
引戸錠  
5  
引戸  
金具  
6  
上吊式  
引戸金具  
7  
移動  
間仕切  
金具  
8  
折戸  
金具  
9  
室内用  
アルミ建具  
10  
取手・  
引手  
11  
スリッパ  
ワイヤー  
バスケット  
12  
収納・  
吊金具  
13  
その他の  
家具金物  
14  
物干金具・  
諸金具  
15  
真鍮  
アンティーク  
16  
設計  
施工  
ガイド  
会社案内

## 使用条件

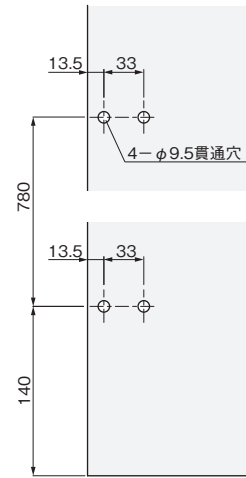
屋内用木製引戸(浴室には使用できません) ◇対応戸厚:27~40mm  
◇引戸の引き残し量:120mm以上

## 設計ガイド

### ■金具の納まり参考図



### ■戸の加工寸法図



### ご注意

掘込加工部には、必ず芯材を入れてください。芯材がないと、異常な動作・故障や事故発生の原因になります。

## 施工ガイド

### ■金具の取付け方法

#### 1.可動ブラケットの取付け 上部・下部用に下記を繰り返します。

①可動ブラケット(オン)のアームを下図のように約100°回転させます。



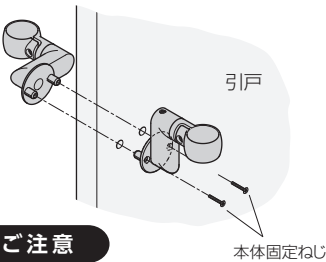
### ご注意

可動ブラケットのアームを約100°回転させると、アームが止まります。それ以上可動させようとすると、破損の原因となります。

②下図のように可動ブラケットで戸をはさみ、添付ねじで固定します。

※戸厚により使用する本体固定ねじの長さが違います。

戸厚	使用ねじ
27~29mm	+皿タッピンねじ 4×27
30~34mm	+皿タッピンねじ 4×32
35~40mm	+皿タッピンねじ 4×37



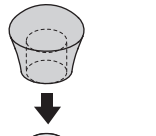
### ご注意

※添付ねじで固定後、可動ブラケット(オン)のアームの向きを変えないでください。  
※本体固定ねじを電動ドライバーで締めると、破損するおそれがありますので、必ず手回しドライバーで締めてください。

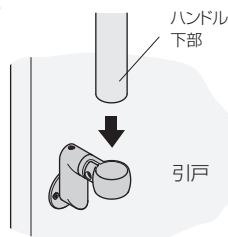
#### 2.ハンドルの取付け

#### 戸の室内側・室外側用に下記を繰り返します。

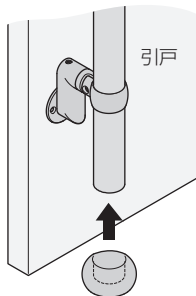
①ハンドルに上部ゴムキャップをしっかりとはめこみます。



②ハンドルを上下の可動ブラケットに差し込みます。



③ハンドルに下部ゴムキャップをしっかりとめこみます。

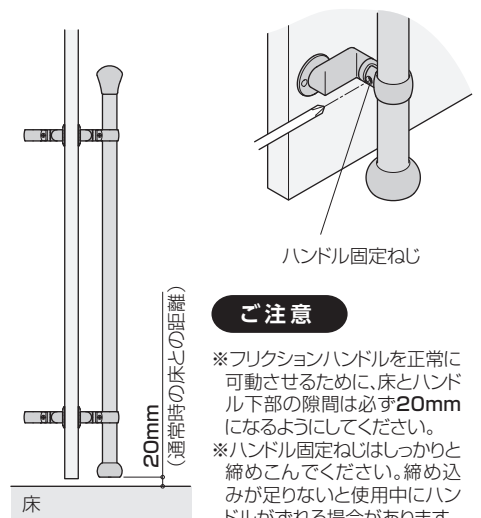


### ご注意

※使用環境によっては、接着剤を併用してください。

④ハンドルを操作して、可動ブラケットのアームを水平に戻します。

⑤下部ゴムキャップと床の隙間が必ず20mmになる位置で、上下の可動ブラケットのハンドル固定ねじを締めこみ、ハンドルを固定します。

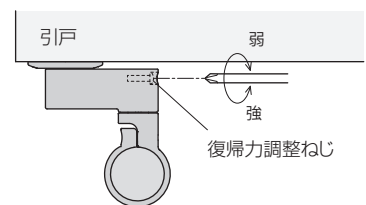


### ご注意

※フリクションハンドルを正常に可動させるために、床とハンドル下部の隙間は必ず20mmになるようにしてください。  
※ハンドル固定ねじをしっかりと締めこんでください。締め込みが足りないと使用中にハンドルがずれる場合があります。

### ■アームの復帰力調整

可動ブラケットの復帰力調整ねじをまわすと、アームの復帰力を調整できます。  
※製品出荷時は最弱設定です。



### ご注意

調整は、上下ともに行ってください。